

「北空知地域の連携の見える化」

～本人や家族を支えるために今の自分が北空知地域でできること・できたらいいこと～

「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」(H29.10.14)において、14グループでグループワークを実施。出席者は北空知地域の支援関係者等105名。北空知地域の支援者が考える本人・家族への支援で必要なことを話し合い、その結果をカテゴリー別に分け図式化したもの。

北空知地域医療介護確保推進協議会
「多職種連携・地域啓発部会」作成

・地域づくり

- ・地域住民が互いに顔の見える関係を築く機会を多くし、普段から会話をする場を増やす
- ・生活支援を町内会単位で協力し合う体制をつくる
- ・男性が役立つ・活躍する機会・場が欲しい(生きがいづくり)
- ・地域単位での見守り隊や電話相談を行う

看取りが地域でできるような体制構築へ

- ・可能になる環境整備
- ・ひとりさみしく死なないように
- ・在宅での看取り
- ・施設での看取り

ボランティアなど地域での支援

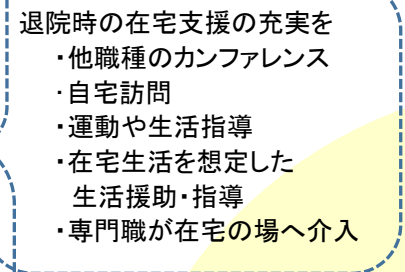
- ・短時間でも誰かが声掛けに行く

・地域と施設

施設内で地域の方々が交流する機会
(レクレーション大会・料理教室など)をつくる

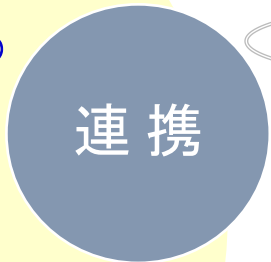
・行政として

- ・住民の声をフィードバックし、住みやすい地域をつくる。
- ・支え合いづくりを啓発し、自主的な活動を後方支援していく

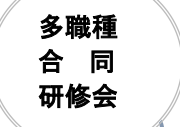


- 専門職として、在宅への介入を
(薬剤師・PT・OT・管理栄養士等)
- ・居宅療養管理指導
 - ・外に出てアクティブに
 - ・介入が当たり前のことに
 - ・すぐに相談できる体制

- 退院時の在宅支援の充実を
- ・他職種のカンファレンス
 - ・自宅訪問
 - ・運動や生活指導
 - ・在宅生活を想定した生活援助・指導
 - ・専門職が在宅の場へ介入



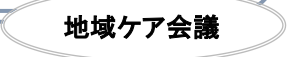
- サービス担当者会議
- お互いの顔が見える関係づくり
- ・住民の方に寄り添った関わりをするため
 - ・入退院や転院の際の密な情報共有
 - ・急変時やちょっとした変化の情報共有
 - ・困った時に他の専門職種と相談



入院時
(目標設定など)

入院中
(在宅に向けた支援)

退院後
(在宅生活支援)



- 連携のためのシステム作り
- ・情報共有できる場の構築
 - ・統一した情報を共有できるシステム
 - ・迅速に情報を得る事が出来るシステム



住民の方に在宅医療や認知症などの知識を周知し、理解が深い病気や老いと付き合っていけるようにしたい。

住民の方に介護サービスや相談機関、また、その目的や利用方法、役割について広める。

健康管理・介護予防について、住民の方が主体的に取り組めるように支援する。

多職種が参加できる研修会を企画し、顔が見える関係が作れるようにしたい。



多職種での情報共有・発信

入退院支援のスキルアップ

施設間交流
出前講座・アウトリーチ

学ぶ

専門職としてのスキルアップ

地域ケア会議の活用・充実

【カテゴリ：周知】

- 住民の方に在宅医療や認知症などの知識を周知し、理解が深め病気や老いと付き合っていけるようにしたい。
 - ・保健師：在宅医療についての市民周知
 - ・介護福祉士：認知症に対して理解、正しい知識等を地域の方にもっと伝えていきたい
 - ・本人、家族にも自分達のこととして考えてもらう。病院ですべてではなく、病気、老いとつきあっていける町作り
- 住民の方に介護サービスや相談機関、また、その目的や利用方法、役割について広める。
 - ・介護福祉士：老健施設についての役割をもっと広めたい
 - ・介護：老人保健施設の設置、目的、利用方法等広げていく
 - ・看護師：話を聞いてどこでその思いを伝えようと良いか教える。サービスを知らない人も多い
 - ・保健師：介護サービスについて市民周知(かかわる関係機関についても知らせていく)
 - ・訪問看護の周知
 - ・保健師：地域の人に知らせたい
 - ・相談機関などの説明をしていきたい
- 健康管理・介護予防について、住民の方が主体的に取り組めるように支援する。
 - ・看護師：誤嚥性肺炎を予防するための家族、本人に対するケア等の指導
 - ・保健師：病院や在宅サービスの中から介護予防(教室)が必要な方を紹介してほしい。そしたら保健師動きます
 - ・保健師：日常からの健康管理を支援(住民が主体的に)
 - ・保健師：生活支援、介護予防を普及させていく
 - ・保健師：元気なうちからの介護予防
- 多職種が参加できる研修会を企画し、顔が見える関係が作れるようにしたい。
 - ・保健師：多職種が参加できる研修会の企画
 - ・保健師：顔が見える関係が作れるよう各研修会に参加
 - ・GHケアマネ：もっと意向に近づけるように、コミュニケーション・研修機会・学びの場をもっと関係性の助けにしたい。

**【カテゴリ：
本人に向けて】**

- 入院時：・目標設定に向けて本人がどのような生活を送っていたか、本人を知る事
 - ・本人家族の望む退院後の生活を踏まえた看護
- 入院中：・本人の思いを引き出せる関係作り
 - ・コミュニケーションで良好な関係作り、在宅へ戻れるという事を考えられるような支援
 - ・意思決定(本人家族)への支援、患者の不安の軽減を図る
 - ・退院後、どのように過ごしたいか本人の本当の気持ちを確認、どうしたら可能になるかを一緒に考え、リハビリテーションを提供
 - ・寝たきりにさせない看護、リハビリテーションの実施
 - ・居場所作り、本人にあった病院・施設へ
- 退院後：・どのような最期を迎えたいか(達成のための一元化した情報共有)
 - ・多職種による様々なサービスの協力により、在宅生活を支える
 - ・地域の人たちの助け合いで在宅生活を支える
 - ・自宅で困っている動作のリハビリ指導

【カテゴリー：
スキルアップ】

- 入退院支援スキルの充実
 - ・早期から退院を見据えた援助が意識的にできる
 - ・在宅での必要な援助がわかる病院の看護師が多くできるようになる
 - ・病院スタッフに在宅を知ってもらう
 - ・看護師が在宅での生活をイメージして病院内で看護ができる
 - ・訪問看護ステーションの研修を継続
 - ・訪問看護についての知識を深めたい
- 施設間交流
 - ・近隣施設の交流
 - ・施設ので生活状況を知る
- 出前講座・アウトリーチ
 - ・認定看護師等による出前講座
 - ・施設への感染症対策に関するアドバイス
- 専門職としてのスキルアップ
 - ・管理栄養士: 食事で困っている方がいたら相談や食事の提案をしていく
 - ・薬剤師: 医師に言えない相談をこっそりしてもらえるスキル
 - ・リハ職(OT): 退院先に何度も訪問し状況を確認したい
 - ・リハ職(OT): 介護者への具体的な支援方法
- 地域ケア会議の活用・充実
 - ・認知症の受診等困難事例を地域で検討
 - ・地域ケア会議の場を使って学習会
 - ・ケアマネのスキルアップ
- 学ぶ
 - ・研修会の充実と参加
 - ・介護、福祉について看護師の知識がないので学ぶ
- 多職種での情報共有・発信
 - ・職種別の方と交流を図り別視点の意見を聞ける機会がもっとあれば良い
 - ・情報発信